

●越前屋呉服店

明治一六年（一八八三年）創業、伊勢佐木町二丁目二番地にあり、横浜四大呉服店のひとつ。呉服のほか、雑貨、美術工芸品まで取り扱った。同四一年、二代目太田与一が、白亜三層の「陳列場」を建築した。

震災直後、土蔵二階建一棟と鉄筋コンクリート三階建一棟の店舗部分と、倉庫五棟は倒壊せず、店員の寄宿舎が半壊したのみであった。当時の店員九七人と、約五〇人の来店客は被害を免れたが、午後から市内全域に広がった火災により類焼し、三階建の店舗建物内部は焼け落ち、全体が傾斜して残存した。

昭和四年（一九二九年）に株式会社に変更、昭和六年五月に新店舗が開店、翌七年に休業、松屋の傘下となり、九年「寿百貨店」として再開するも一九九年には、松屋に吸収合併され、寿百貨店も姿を消した。



Isesakicho-dori (Theatre Street) Yokohama. 町木佐勢伊濱横

震災前：絵葉書「横浜伊勢佐木町 Isesakicho-dori (Theatre Street) Yokohama.」



震災：紙焼き写真「伊勢佐木町（越前屋）」（『横浜震災被害写真帖』所収）



復興：絵葉書「（大横浜名所）伊勢佐木町通り Isesakicho dori, Yokohama.」